

高齢者夫婦の家事分担に見られる変化

近年の少子高齢化、ジェンダーギャップの大きさを背景に高齢者夫婦の家事分担に見られる変化を研究した。なぜ65歳以上の夫婦では男性の家事参加率が高まるのか、家事参加率は以前のデータと比較して違いがあるか等を考察した。10組の65歳以上の夫婦に対して個別のインタビュー調査を実施した。結果はおおむね先行研究通りであった。同居している場合、祖父母は子育てに必要な労働力として考えられるが、祖父母と娘夫婦、息子夫婦が生計を別にしていない場合はその限りではなかった。また、家事の時間が増えた原因は仕事を辞めたことでの相対的資源の低下、家で過ごす時間が増えたこと、また所属コミュニティからの影響により、ジェンダーイデオロギーが変化していることも高齢者夫婦の家事分担に見られる変化につながっていると考えられる。